

2018年度 活動報告書

Report 2018



苦しく辛い経験をした子どもは、
誰よりもつよくやさしくなれる。
被災地の子どもたちの成長は、
この国の新たな希望です。



©Natsuki Yasuda

東日本大震災発生時に0歳だった赤ちゃんが、
無事にハタチを迎えるその日まで。



震災から8年、子どもたちの成長 Growth of Children

変わり果てた町、大きな支えだった祖父の行方不明、母と別々に暮らした3年半。
それでも前を見据え、未来を切り開こうとする高校2年生の男の子の姿を岩手県沿岸の町からお伝えします。



小学2年の頃、東日本大震災が町を襲った。家ごと津波で流され、祖父の思い出の品は何も残っていない。

生まれて間もなく母が離婚したため、父の記憶はない。祖父は父のような存在だった。祖父は仕事の傍ら空手道場を開き、近所の子どもたちや大人約1000人に空手を教えていた。幼い頃は黒帯をおんぶ紐にして、よく背負ってもらった。休日には毎週近くの海まで釣りに連れて行ってくれた。お風呂、犬の散歩、キャッチボール…。何でも一緒。厳しくも暖かい祖父は、「理想の大人」だった。

震災後、被災した町では仕事を見つけるのは難しく、母は専門学校で資格の勉強をしながら働くために千葉県に引っ越すことにした。「やっぱり僕はこの町に残る。僕はじいちゃんを探す。じいちゃんが帰ってくるのを家で迎えたい。」引っ越しの日、母についていくことを断った。この町で祖母と暮らして祖父の帰りを待ちたかった。

母が町に帰ってくるのは数ヶ月に1度。母が千葉県へ戻る

時は、自宅前でいつも目に浮かぶ涙がこぼれないように歯を食いしばって見送った。小学6年になる直前にやっと町と一緒に暮らせるようになった。

経済的に苦しい中、少しでも夢に近づけるようハタチ基金の支援先であるチャンス・フォー・チルドレンに、スタディクーポンの支援を申し込んだ。今はクーポンで隣の塾に通うことができるようになった。自宅での学習時間も増え、勉強に意欲的になった。「支援してくださっている人の気持ちに応えるためにも、精一杯頑張らないと」と気を引き締める。

将来の夢は人の命を救う緊急救命士になること。消防士になった兄の姿といつも横断歩道で歩行者が安全に通行できる誘導をし、人助けをしていた祖父の姿を見てそう思った。あれから8年。祖父の姿を思い浮かべながら理想の大人に近づけるように日々を過ごしている。



代表理事よりご挨拶 Greeting

震災の影響を受けた子どもたちを支え続けたいという想いで生まれたハタチ基金は、多くの皆様の支援に支えられ、8年間活動を継続することができました。心より感謝申し上げます。

ハタチ基金は、これからも被災地の未来を担う子どもたちに寄り添い、そのときどきに必要な支援を彼らがハタチになるまで届けてまいります。今後も子どもたちの成長に伴走いただきますよう、よろしくお願いいたします。

代表理事(写真左から) 今村 久美 能島 裕介 白井 智子 駒崎 弘樹



2018年度の支援実績 Result

子どもたちに学び・自立の機会を提供するために、復興状況や現地のニーズに合わせて支援活動を実施する団体へ助成を行いました。皆様の想いとともにご寄せられたご寄付を、確実に子どもたちのために役立てます。



認定NPO法人フローレンス

おうち保育園 0歳～

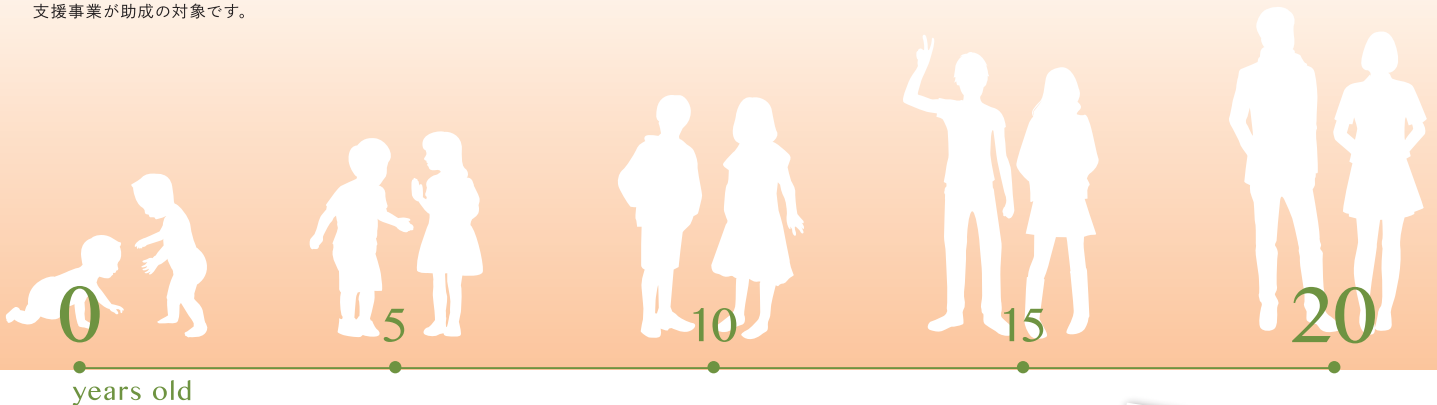
28人^(※)の子どもたちとその家庭に『保育ソーシャルワーク』を届けました。

※ダブルカウントなし

震災を経て、経済的・精神的負担を抱えながらの子育てには、養育不安や貧困、子どもと養育者の疾病や障害など様々な困難な状況や因子が潜在しています。『保育ソーシャルワーク』は子どもとその養育者を支えるセーフティーネットです。そんな機能を持つ保育園を仙台市で唯一、おうち保育園として運営することができました。



0歳から20歳までの各年代の子どもたちへの支援事業が助成の対象です。



NPO法人トイボックス

みなみそうまラーニングセンター

5歳～

障害と健常の垣根が低くなるように。どんな子どもも安心安全な放課後を過ごせるように。のべ4560人を支援。

障害の有無を問わず、多様性のある子どもたちが安心安全な環境のもとでのびのびと過ごせる放課後の環境づくりを行いました。また、人材不足が続く南相馬で、全国の臨床心理士や福祉を学ぶ学生等の支援人材の派遣や研修・相談の実施を通して、厳しい環境のもとで子どもを支え続ける支援員の先生方のサポートに取り組みしました。



スタディクーポン提供事業 6歳～

500名の子どもたちにクーポンを提供。
大学生ボランティアは1,628回の面談を実施しました。

被災した500名の子どもに対して、地域の教育事業者で利用できるクーポンを提供しました。2018年度は、被災した低所得世帯の不登校生徒に対してクーポンを提供する制度を試行的に設け、7名を支援しました。また、子どもたちの進路・学習相談にのっている大学生ボランティアは、子どもと1,628回の面談を実施しました。



コラボ・スクール 6歳～

岩手県、宮城県、福島県の3県で、
小学生から高校生までの665人に、
学びの場を届け、心のケアを行いました。

被災した子どもたちが、放課後の時間に安心して過ごし、意欲を持てる場づくりをしています。基礎学力定着のための学習機会の提供とともに、スタッフとの触れ合いを通じた心のケアを行なっています。また子どもたちが自身の興味を深めていく「探究学習」に取り組み、子ども発案の地域の新たな特産品などが誕生しました。



居場所機能を持った学習スペース 12歳～

仙台市近郊の中高校生110名と、
南三陸町の中学3年生21人を対象に、
受験指導や居場所づくりを行いました。

被災地域から引越してきた家庭の多い仙台では、困窮世帯の中高生を対象に居場所型の学習スペース「Sりびんぐ」を開催。学習指導、軽食提供のほか、芋煮会・合宿研修などの体験活動も行いました。また震災の被害の大きかった南三陸町では、高校受験対策講座やキャリア教育合宿も開催し復興人材の育成に取り組みました。



ご支援いただいた皆様 Supporters

ハタチ基金では、2018年度、企業・団体様からのご寄付を約200件いただきました。継続的にご支援をいただく企業・団体様も多く、ポスターやチラシの作成・配布など、子どもたちを支える輪と一緒に広めるためのご協力もいただいております。

伝統の技と心手づくりの酒



株式会社一ノ蔵



ダイドードリンク株式会社



Shake Shack



株式会社ホッタ



アソシエテッド・インターナショナル
株式会社



アズワン株式会社



株式会社クオカード

株式会社クオカード



KDDI株式会社



株式会社サンポール



一般社団法人TUcommons夢のアトリエ

J-POWERグループユニオン / 株式会社ディノス・セシール / チューリッヒ日本人会 / 株式会社生活総合サービス / 銀座西並木通り会
株式会社セールスフォース・ドットコム / 松谷商事株式会社 / 日蓮宗島根県教化センター / 株式会社LOUVREDO / 立正佼成会秋田教会 /
株式会社CORE技術研究所 / ヤフー株式会社 / ハタチ基金チャリティコンサート実行委員会2018 / 大阪ガス株式会社 /
TherapistProduce合同会社 / ラビットクラブ / 北海道大学医学部41期会 / HMC事務局 / 尾張旭ランニングクラブ / 南魚沼グルメマラソン
実行委員会 / キューピーグループマッチングギフト「QPeace」 / つながる箱 / 株式会社サイ・コーポレーション /
NPO法人Dance Association Seeds / 株式会社オオイシ / ニューヨーク補習授業校LI校 生徒会 / 一般社団法人いいことファーム /
山佐産業株式会社 / ハンドベルアンサンブルYD、ハンドベルカンパニー一音 / ふんばろうものづくりプロジェクト / 一般社団法人人間塾 /
一般社団法人日本サロネーゼ協会 / DRAGON HEAD / 株式会社 クオリアート / 京都市少年補導委員会・京都府少年補導連絡協議会 /
hair salon Gallica / ペーカリー寛 / 株式会社白岩工務所 / ライジングスターズ ダンススクール / トライオン株式会社 / まんまる市 /
株式会社 北米屋 / 共同カイトック株式会社 / 日油株式会社 / 日蓮宗名古屋青年会 / コアスタッフ株式会社 /
特定非営利活動法人 洋服ポストネットワーク協議会 / Run for Children Tohoku 2018 ※その他、たくさん企業・団体様からご支援をいただきました。

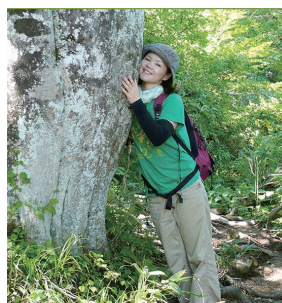
支援者様からのメッセージ Messages from supporters



Shake Shack テラスモール湘南店
松山 依央菜

店頭で200円寄付いただいた方に、次回来店時に利用できるシェイクチケットをお渡しするチャリティーキャンペーンを実施し、集まった全額をご寄付いただきました。

2019年に被災地訪問をさせていただき、シェイクシャックが毎年行うGreat Japanese Shake Saleで集められた寄付金が、ハタチ基金を通して被災地の子どもたちの笑顔と未来、保護者の安心に繋がっている事を実感いたしました。今後も継続的に支援を続けていきたいと思っております。



NPO 理事
上田 元己

呼びかけ人として、毎月の継続的なご寄付でご支援くださいました。
※ハタチ基金では、一人ひとりが身近な方へ呼びかけることも子どもたちへの支援に繋がることから、継続寄付会員様を「呼びかけ人」と呼んでいます。

今日で8年。いつも心にあるけれど東北まで行って力になることができず、何となく申し訳ない気持ちでいます。昨年、初めて被災地に行くことができました。予想以上に復興が進んでおらず、改めて被災の大きさと、皆様の頑張りを感じ、まだまだ支援は必要だと実感しました。すごく頑張っている東北の方に励まされました。

〈公益社団法人ハタチ基金 決算報告〉

正味財産増減計算書 2018年4月1日～2019年3月31日

(単位:円)

科目		2018年度実績		
一般正味財産増減の部	経常収益	受取寄付金	40,594,000	
		受取寄付金振替額	46,697,322	
		雑収益	299	
		経常収益計	87,291,621	
	経常費用	1.事業費	人件費	3,761,266
			助成金	55,000,000
			事務局運営費	8,383,684
			その他事業費	11,071,453
		2.管理費	人件費	1,253,755
			事務局運営費	2,794,562
	その他事業費	5,026,901		
	経常費用計	87,291,621		
	当期一般正味財産増減額	0		
	一般正味財産期首残高	1,096,100		
	一般正味財産期末残高	1,096,100		
指定正味財産増減の部	受取寄付金	70,534,701		
	一般正味財産への振替額	▲46,697,322		
	当期指定正味財産増減額	23,837,379		
	指定正味財産期首残高	32,336,246		
	指定正味財産期末残高	56,173,625		
	正味財産期末残高	57,269,725		

- 残高は2019年度に行う事業および、基金の継続的な運営管理のために使用させていただきます。
- 呼びかけ人の皆様からのご寄付については一般寄付金とし、東北の子どもたちを支援する団体の活動および基金の運営管理など、ハタチ基金の活動全般を長期的に継続していくために使用させていただきます。
- ご都合のよい時にいただく都度のご寄付については指定寄付金とし、東北の子どもたちを支援する団体の活動のために活用させていただきます。

2018年度 公益社団法人ハタチ基金助成事業について

助成件数：5件

助成金額：55,000,000円

〈各団体の支出〉

使用期間：2018年4月1日～2019年3月31日

認定NPO法人フローレンス

- おうち保育園 【総事業費】135,790千円 (単位:千円)

ハタチ基金からの支出内訳	金額
人件費	6,000
合計	6,000

NPO法人トイボックス

- みなみそうまーニングセンター 【総事業費】27,261千円 (単位:千円)

ハタチ基金からの支出内訳	金額
人件費	7,110
地代家賃	2,754
旅費交通費	1,229
業務委託費	863
その他(水道光熱費、車両・燃料費、通信運搬費等)	1,544
合計	13,500

公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン

- スタディクーポン提供事業 【総事業費】127,049千円 (単位:千円)

ハタチ基金からの支出内訳	金額
人件費	7,550
地代家賃	2,012
通信運搬費	1,697
外注費	1,490
その他(クーポン印刷費、ボランティア交通費等)	2,251
合計	15,000

認定NPO法人カタリバ

- コラボ・スクール 【総事業費】251,789千円 (単位:千円)

ハタチ基金からの支出内訳	金額
人件費	17,000
合計	17,000

NPO法人キッズドア

- 居場所機能を持った学習スペース 【総事業費】9,775千円 (単位:千円)

ハタチ基金からの支出内訳	金額
人件費	2,400
施設運営費	1,100
合計	3,500

各事業の総事業費および、その中でハタチ基金からの配分を使用した支出を記載しています。



公益社団法人ハタチ基金

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南3-66-3 高円寺コモンズ2F

TEL:03-3330-0005 (平日9:00～18:00) www.hatachikin.com